

【東海耐久シリーズ 2020 開催概要(暫定)】 Ver.1.0(2020/1)

昨年シリーズからの変更点は赤色で記載してあります。(開催日程は除く)

■開催日程(暫定) K耐久/GT耐久 共通

	開催日	決勝時間	申込受付期間	早割適用 入金期限	開催会場	主催
第1戦	4月12日(日)	5時間	3月2日～ 4月2日	-	美浜サーキット	(株)美浜サーキット・クニモト
第2戦	6月28日(日)	3時間	5月18日～ 6月18日	5月28日	鈴鹿ツインサーキット	レインボーカラーズ(株)
第3戦	8月16日(日)	5時間	7月6日～ 8月6日	-	美浜サーキット	(株)美浜サーキット・クニモト
第4戦	9月27日(日)	3時間	8月10日～ 9月10日	8月20日	スパ西浦モーターパーク	レインボーカラーズ(株)
第5戦	11月15日	3時間	10月5日～ 11月5日	10月15日	鈴鹿ツインサーキット	レインボーカラーズ(株)

・申込期限は、各ラウンド共上記の通りとする。

・開催場所は、美浜サーキット、スパ西浦モーターパーク、鈴鹿ツインサーキットを転戦する。

・全ラウンド共、K、GT 混走の決勝とし、K/GT 部門毎のグリッド順でローリングスタートを行う方式とする。

・各戦とも予選、決勝と走行する。(フリー走行は各ラウンドによって設定が異なる)

・早割は、入金期限の期日までに指定口座に着金がないと認められない。

・美浜サーキットシリーズは本シリーズと統合した。(美浜シリーズとしての開催は行われない)

■参加資格

1. 有効な普通自動車免許の所有者であること。
2. 主催者が認めるドライバー。

■参加申込

1. 申込受付期間

上記、開催日程の欄に記載された申込受付期間内に下記の要領で申し込むこと。

※指定ピットの位置は、申し込みが成立した順で、原則として申込順にコース入口より割り当てる。但し、申込開始日より前に申し込んだ場合には、申込開始日の最終順とする。

※他チームと隣り合わせのピットを希望する場合は申込書に記載すること。この場合、後から申し込んだ方のチームの順番で、ピット位置を割り振る。

2. 申込方法

- ①必要書類(「参加申込書」と「車両申告書」)に必要事項を記載の上、下記の「耐久事務局」まで郵送、FAX、またはe-mailで送付すること。

※必要書類は公式HPよりダウンロードするか、事務局までご請求下さい。

『申込先』

〒441-1376 愛知県新城市宮の前 15-1 FAX 0536-23-2922 レインボーカラーズ株式会社 新城オフィス

- ②参加費用を参加申込書送付から3日以内に銀行振込で送金すること。

『振込先』

スパ西浦、鈴鹿ツインサーキットラウンド: 三菱 UFJ 銀行 知立(ちりゅう)支店 普通 0069732 レインボーカラーズ(カ)
美浜サーキットラウンド: 三菱 UFJ 銀行 半田支店(440) 普通 0025134 カ)美浜サーキットクニモト

※チーム代表者名と別名義で入金する場合は、申込書の所定の欄にその旨を記載すること。

※振込手数料は参加者負担とする。

3. 申し込みの成立と募集台数

必要書類到着と、参加費用の入金をもって申し込みが成立する。募集台数に達した場合は、正式申し込みの順にて受理する。

募集台数(全クラス合計台数)…鈴鹿ツイン、スパ西浦:35台 美浜サーキット:25台(※但し主催者又は会場サーキットが認めた場合はこの限りではない場合もある)

4. キャンセルについて

・申込期間中のキャンセルは事務手数料 1,000 円を差し引き返金する。

・締切日を過ぎてから5日前までのキャンセルは、半額を返金する(参加扱いとならない。)

・開催日まで4日前以降のキャンセルについては、返金できない(参加扱いとなり、リタイヤ扱いとなる。)

・キャンセルの場合、エントリー代の次戦繰り越しは出来ない。

■参加費用

K耐久/GT耐久とも

開催回	会場	ロールケージ装着車両	ロールケージ未装着車両
第1戦	美浜サーキット(5時間)	¥63,000(税込)	
第2戦	鈴鹿ツインサーキット(3時間)	¥52,000(税込)	¥57,000(税込)
第3戦	美浜サーキット(5時間)	¥63,000(税込)	
第4戦	スパ西浦モーターパーク(3時間)	¥52,000(税込)	¥57,000(税込)
第5戦	鈴鹿ツインサーキット(3時間)	¥52,000(税込)	¥57,000(税込)

※鈴鹿ツインサーキットの屋根ありピット使用は、申込の先着順で大会事務局が決定します。

※ロールケージの装着を強く推進するため、装着の有無で参加費の差を設ける

※ロールケージ装着義務付けのクラスは、未装着では参加できない

＜鈴鹿ツイン、スパ西浦ラウンドにおける割引制度(※美浜サーキットでは適用外)＞

下記の各種割引制度が鈴鹿ツインサーキット、スパ西浦モーターパークラウンドにはあり。

① 早割 …… ▲1,000円割引(美浜摘要なし)

早割適用入金期限(開催日程欄参照)迄に申し込みと指定口座への着金が完了した場合に適用。

(入金期限日までに振込みを完了しても、着金がなされないと認められないので注意すること)

② 学割 …… ▲5,000円割引(K-STクラス、及びその他クラスについても条件を満たせば摘要される)(※美浜も適用)

大学、専門学校、自動車部・サークルのチームに適用。チーム名又は参加車両名に必ず学校名(アルファベットによる略称は不可)を入れ、ドライバー全員が在校生であること。

■参加人数及び傷害保険の加入

全戦とも1チームあたり2~8名までのドライバーとする。運転できるのは、登録したドライバーのみであり、登録外ドライバーは走行できない。

※登録してあるドライバーであれば運転の順番・回数は自由とする。

・美浜サーキットラウンドにおいては、参加するドライバー全員は美浜サーキットが管理するスポーツ安全保険に加入していなければならない。

年間保険料¥2,500/名(初回申込後の競技当日より、2021年3月31日まで有効。純保険料¥1,850+事務手数料¥650)

加入区分…大人C型 保険の詳細内容については、下記URLより参照のこと。

公益財団法人スポーツ安全協会 <http://www.sportsanzen.org/hoken/>

・鈴鹿ツインサーキットラウンドにおいては、参加するドライバー全員は鈴鹿ツインサーキットの設定する傷害保険にも加入しなければならない。(¥500/名)これについては毎戦掛け捨てであり、登録するドライバー全員に加入が毎回義務付けられる。

・スパ西浦モーターパークラウンドにおいては、レインボーカラーズが紹介するスポーツ安全保険に加入することができる。任意での加入であるが、加入を推奨する。

■クラス設定

1) K耐久(軽自動車)部門

下表の通り7つのクラスに分けられる。

	ノーマルクラス (ほとんど改造が出来ないクラス)	クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の広いクラス)
自然吸気エンジン	K-NN クラス ※1 K-NN/A クラス ※1	K-NC クラス ※2	K-OP クラス ※3
	K-ST クラス ※4		
過給機付きエンジン	K-TN/A クラス ※1	K-TC クラス ※3	

※1…K-NNクラスには、本シリーズの車両規則及び、東北NA660選手権のクラス2またはクラス3のレギュレーションに合致した車両が参加できる。ただし使用出来るタイヤ、安全規則の一部については、当シリーズのレギュレーションに従うこと。(安全規則、車両規則を熟読のこと)

【新設クラス】K-NN/A クラスは、K-NN クラスの車両規則に合致した、オートマチックトランスミッション(CVTを含む2ペダル車両)搭載車両のクラスである。また、K-TN/A クラスは、過給機付きエンジン車両で、過給機類無改造でその他 K-NN クラスの車両規則に合致した、オートマチックトランスミッション(CVTを含む2ペダル車両)搭載車両のクラスである。

※2…K-NCクラスには、本シリーズの車両規則及び、鈴鹿ツイン軽耐久シリーズ NC クラスの車両規則及び、東北NA660選手権のクラス1またはクラス4のレギュレーションに合致した車両がエントリーすることが出来る。ただし使用出来るタイヤや、安全規則の一部については、当シリーズのレギュレーションに従うこと。(安全規則、車両規則を熟読のこと)

※3…K-OP、K-TC クラスには、本シリーズの車両規則及び、鈴鹿ツイン軽耐久シリーズの車両規則に合致した車両がエントリーすることができる。

※4…特別クラスとして、学生対抗選手権クラスである。タカス.66 の TC-C クラス又は、SCCN の GT66DASH のいずれかの車両規則に合致する車両、本シリーズの K-NC 又は K-NN 規定に合致する車両で、本シリーズの学生割引が受けられる条件を満たしているチームが、本クラスに参加できる。尚、学生によるチームでも、規定が合致する通常クラスにエントリーすることは可能である(選択できる)。

【補足事項】

- ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。但し、ナンバー取得実績がなければならない。それを証明できる書類(車検証又はそれに相当する書類等)をシーズン初回申込時に添付すること。
- ※ただし、東北NA660選手権のレギュレーションで参加する車両は、基本は東北NA660選手権の規則に従うこと。(タイヤや安全規則の一部など、注釈がある項目だけは当シリーズのレギュレーションに従うこと)
- ・NNクラス、およびNCクラスについては、新規格軽自動車は義務ピット回数優遇ハンディ設定がある。ハンディの詳細は競技規則の「ピットハンディ」の項を参照のこと。
- ※東北NA660選手権のレギュレーションで参加する車両にも、新規格軽自動車ハンディは適用される。
- ・ノーマル、クローズド、オープン の区分けについては車両規則を確認のこと。

2)GT耐久(普通車)部門

下表の通り4つのクラスに分けられる

	クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の広いクラス)
1000cc 以下のNA車	1C クラス	OP クラス
1001cc~1500cc のNA車、 1200cc 以下の過給機付車、 1501cc~1850cc のNAの後輪駆動車	2C クラス	
1501cc 以上のNA車 1201cc 以上の過給機付車	3C クラス	

【補足事項】

- ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。但し、ナンバー取得実績がなければならない。それを証明できる書類(車検証又はそれに相当する書類等)をシーズン初回申込時に添付しなければならない。
- ・「1Cクラス」と「2Cクラス」は、統合して「1+2C」クラスとして表彰する。
ただし1Cクラス該当車については、ハンディが与えられる。ハンディの詳細については、競技規則「ピットハンディ」の項を参照のこと。
- ・「3Cクラス」と「OPクラス」は、統合して「3C&OP」クラスとして表彰する。ただしOPクラスに該当する車両はハンディがある(詳細は競技規則、ピットハンディを参照)
- ・ロータリーエンジンの排気量は、1.5倍換算とする。
- ・ハイブリッドカーの排気量は、1.0倍換算とする。
- ・クローズド、オープン の区分けについては車両規則を確認のこと。
- ・以下の車両は量産箱型車と著しく性能差があると判断し、エントリー出来ない。
ロータスエリーゼ、エクシージ等
箱型(モノコックフレーム)でない車両・・・スーパーセブン、ザウルス等
- ・その他主催者が上記に属すると判断した車両

■装備品

- ・ドライバーは、「**鈴鹿ツインサーキットラウンド**、スパ西浦ラウンドでは、**フルフェイスのヘルメット**※1必須、美浜ラウンドではジェット型ヘルメットも使用が許される(但し**オープンカーの場合はフルフェイスが必須**となる)。またグローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの)、厚手の長袖と長ズボン(レーシングスーツが望ましい)、運転に適したシューズ(レーシングシューズが望ましい)を全会場共**必着**のこと。
- ※1 フルフェイスヘルメットは2輪用でもかまわないが、SNELL規格又はJIS C種の物を強く推奨する。
- ・レーシングスーツは安全上ダブルレイヤー以上の自動車競技用のものが望ましい。
- ・走行中に袖を腕まくりすること、ズボンの裾をまくり上げることは禁止される。
- ・長袖、長ズボンの着用は、レースアクシデント時にケガや火傷から身を守るためであることを理解の上、厚手で燃えにくい綿素材のものを着用することを強く推奨する。
- ・Hans の使用は任意とする(着用を推奨する)

■準備必須品

- 各チームは給油の有無に関わらず、下記の備品を車両1台につき1つ準備しピットに常備すること。(同一チームで2台参加の場合は2本必要)
- ・ピット用消火器(車載用とは別に、粉末重量2.0Kg以上(又はCO2 2.0Kg以上)のもの)
使用期限内、又は製造年より10年以内のものであることを強く推奨する(※いずれ、義務となる予定)

■競技番号、ゼッケン

- 参加車両は、大会事務局によって定められた競技番号を参加者の責任において、指定の位置、書体、大きさと記入されなければならない。
- 数字は各チームが原則として**1～999の3桁の数字**を決定し、申請するものとするが、同じ番号希望者がいる場合には、主催者が決定するものとする。但し美浜サーキットでは電光掲示板の数字は2桁までの表示となるため、3桁のゼッケンの場合には異なった数字が表示される場合がある。リザルト上は正規の数字で発表される。
- 数字はアラビア数字、書体はボールド又はゴシック体で、**左右の数字のタテの長さは28cm以上**とすること。
- 競技番号は次の通り指定された色で記入されなければならない。

ゼッケン文字	ゼッケンベース
黒	白 ※形状は丸、角は問わない

※ボディ色が白の車両はゼッケンベースは要らない。

- 競技番号は下記の4箇所に貼り付けること。

① フロントエンジンフード ②③前席左右ドア ④リヤ

※リヤ部分の数字のタテの長さは28cm未満でもよいが、数字1文字のサイズが縦15cm×横6cm以上でなければならない。

- 障害者用操作装置を装着した車両、及び**学生対抗選手権クラス(K-STクラス)**は、**ゼッケンベースを黄色**にすること。
- 2020年のシーズンにおいては、複数のチームから同一番号の申請があった場合には、**昨シーズン参加実績のあるチームの登録ゼッケンが優先される**。シーズン初回の申込においては、申込前にホームページに公開されている登録済み番号を確認すると共に、必ず申込用紙に第2希望以降の番号も記載すること。
- 一度取得したゼッケン番号は、その年度は優先的に使用することができる。

■クラス識別ステッカー

- 参加車両は次の通りに指定された色のクラス識別ステッカーを、フロントガラス上部と、リヤガラスの2箇所に貼り付けなければならない。
- リヤガラスに貼り付けが困難な車両は、リヤガラスの近くで後続車に見えやすい場所に貼ること。

耐久クラス	色
K-NN、 K-NN/A 、 K-TN/A	白
K-NC	青
K-TC	黄
K-OP	赤
1C/2C	緑
3C/OP	ステッカーなし
K-ST	白

- クラス識別ステッカーはレース当日の参加受付時に配布するので、必要なチームは申し出ること。
- 第2戦以降、前戦に貼ったステッカーが残っている車両は、それを継続使用してよい。

■トランスポンダ(タイム自動計測器)

- 全ての参加車両は主催者が用意したトランスポンダーを車検時まで装着し、フリー走行、予選、決勝を通じて装着してなければならない。
- トランスポンダーの配布は参加受け付け時に行い、レース終了後は受け付け場所まで返却すること。万一破損・紛失した場合は代金がサーキットより請求される。
- トランスポンダーは各サーキットの指定位置に、上下正しい向きで、粘着テープ等で確実に固定すること。(サーキット毎に異なるので注意)
- 【参考】美浜:車体左側面内側、クォーターガラス等 スパ西浦:右ドア内側又はサイドシェル内側 鈴鹿ツイン:リアナンバープレート

■窓の開閉

サーキット走行中は運転席側の窓は閉めること(全閉)。助手席および後部座席の窓は開けてもよい。ただしウインドウセーフティネットを運転席側に装着した場合は、窓を開けて走行することが許される。

■順位認定及び完走の規定について

- 順位認定は、各会場コースの計測ライン上(ピットレーン上含む)でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。
- 順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数の多い車両から決定される。同一周回の場合は、計測ライン(ピットレーン上含む)通過順位によるものとする。
- チェッカーを受けられなかった車両のうち、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%以上(端数切捨て)を走行した車両は、チェッカーを受けた車両の後に順位付けされる。
- 走行周回数が、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位認定を受けられない。(完走扱いとはならない)

■賞典対象

クラスごとに表彰を行ない、総合順位での表彰は行わない。
賞典の対象台数は各クラスの参加台数によって以下の通りとする。

クラス参加台数	1位	2位	3位	4位
9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典
6台～8台	賞典	賞典	賞典	
4～5台	賞典	賞典		
3台以下	賞典			

※賞典はトロフィー、楯、カップのいずれかとする。K-ST クラスについては、特別クラスの為、賞典については他クラスと異なるものが授与される。

■シリーズポイントとシリーズ順位の認定

- ・クラスごとの順位で毎戦ポイントを付与し、1～5戦の合計をシリーズポイントとしシリーズ順位を付ける。
- ・ポイントはクラスごとで、完走扱い車両の1位から最後尾順位までの車両にポイントが与えられる。
- ・シリーズ順位の認定を受けるためには、美浜サーキット、鈴鹿ツインサーキットそれぞれ少なくとも1回以上参戦し、合計3戦以上の参戦にて有効とする(参加扱いとなれば有効となり、完走していない場合も参戦とする。(有効ポイント制度))

(1)シリーズ順位認定と表彰対象

平均参加台数	表彰対象台数
9台以上	シリーズ4位まで
6～8台	シリーズ3位まで
4～5台	シリーズ2位まで
3台以下	シリーズ1位まで

(2)シリーズポイント

順位	付与ポイント	決勝5H特別ポイント	順位	付与ポイント	決勝5H特別ポイント
1位	20点	+5点	6位	6点	+3点
2位	15点		7位	5点	
3位	12点		8位	4点	
4位	10点		9位	3点	
5位	8点		10位～	2点	

※決勝完走できず…1点(参加ポイント)(※決勝5H特別ポイントは付与されない)

- ・ポイントは競技番号に付くものとする。よってシーズン途中で車両の変更があった場合でも、同じ競技番号を継承すればポイントは継続する。ただし、クラスを変更した場合はポイントの継続は出来ない。
 - ・美浜サーキットラウンドについては、決勝競技時間が長いため、特別ポイントを上記の表の通り付与する。
 - ・合計が同ポイントの場合の順位は上位得点の回数の多い順に決定される。
なお、上位得点の回数が同一である場合は、最終戦時に獲得したポイントが高い順によって決定し、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時…に獲得したポイントが高い順によって決定する。
 - ・当該レースにおいて失格した場合は、ポイントは獲得出来ない。
 - ・シリーズ順位上位チームは最終戦でシリーズ表彰をする。ただし各クラスの表彰対象は、1～5戦までの平均参加台数によって決まる。
- ※平均台数は小数点以下切り下げとする。つまり平均3.1台の場合は3台と換算。

【共通車両規定】(全部門、全クラス共通安全規定)

- ・昨年からの**変更・修正・加筆項目箇所は赤色**で記載してあります。
- ・K耐久部門で東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両は、「★ロールケージ」、「★シートベルト」、「★前後牽引フック」、「★安全燃料タンク」、「★床」「★座席及びシートレール」の項目については、2018年東北NA660選手権のレギュレーションに従うこと。それ以外の項目については、当レギュレーションに従うこと。

★車体(ボディ)

日本国内で生産され、国内でナンバー取得実績がある車体であること。シーズン初回参加申込時に、それを証明できる書類(車検証又はそれに相当する書類等)をシーズン初回申込時に添付すること。

★ロールケージ

ロールケージの材質は、鋼管製(クロモリ製含む)でなければならない。

- ① オープンクラスの車両…4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。
以下の条件に当てはまる車両は、運転席側にドアバーを取り付けることが義務付けられる。
 - ・ ドアビームを取り外した車両
 - ・ 合成樹脂製のドアに変更した車両
 - ・ 標準でドアビームが無い車両
- ② クローズドクラスおよびノーマルクラスの車両…ロールケージの装着を強く推奨する。

オープンカーは4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。

※スチール製以外の脱着ルーフおよび開閉ルーフの車両はオープンカーと見なす。

※スパ西浦モーターパークでは、オープンカーは6点式以上のロールケージを装着している場合でも、ルーフは閉じて(装着して)走行しなければならない。(美浜サーキットでは、サーキットの走行規則に準ずる)

ガラスサンルーフ車およびグラストップ車は、6点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。(さらにガラスサンルーフ、グラストップの項目の安全規定も満たすこと)

※ロールケージの装着を推進するため、装着の有無によってエントリー代に差を設ける。

★シートベルト

運転席には、4点式以上のシートベルトを装着することが義務付けられる。ベルトの幅は3インチのものを推奨する。ショルダーベルト後方にバックルがあるタイプの物は、極力使用しないこと。シートベルトは確実な方法で車体に固定すること。取り付けのためのポディー加工は可能だが、最小限にとどめること。※横転事故が多発しています。怪我を防ぐため、皆さんのご協力をお願いします

シートベルトの取付については、下記の項目を満たしていなければならない。

- ・取付に関して、既存の車体のボルト穴を使用するか、フロアに穴を開け、プレート及びアイボルトを使用すること。その場合、装着が可能であるならば、自動車製造者により設置された「シートベルト取付位置」、「取付孔」、「取付ボルト」等を変更せずに使用することを推奨する。
 - ・アイボルトもしくはシートベルト直止めの固定のみとし、L字ステーやカラビナ、U字材等は使用してはならない。
 - ・シートレールと共締め、シートレールに取付け、溶接による取付は禁止する。
- また、取付については **P8 の図**を参考として、確実に行わなければならない。

車載消火器

全ての車両は消火器を搭載することが義務付けられる。(他のシリーズに参戦、東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両も含む)

- ① 仕様
消火器は粉末2Kg以上の内容量が必要である。(または「別表1」に記載してある、FIA国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第253条に認められた物を装備してもよい)
 - ② 取付場所/取り外し
消火器はドライバー等が容易に取り外せる位置に取り付けなければならない。
(推奨場所は助手席の足元)
 - ③ 取付方法
 - ・クラッシュした際に耐えられるように頑丈に取り付けなければならない。(ブラケットのリベット留めは禁止される)
 - ・取付け方向は車両の前後方向中心線に対して、出来る限り直角に近い状態にすること。
- ・金属製ストラップの付いたワンタッチ金具の装着が認められる。(2箇所装着することを推奨する)
- ④ その他
 - ・使用期限内、又は製造年より10年以内のものを使用することを強く推奨する(いずれ義務付け予定)。

★前後牽引フック

・車両の前後に牽引フックを備えなければならない。

・牽引フックは車両を牽引して移動するのに十分な強度を有していなければならない。材質はスチール製、またはケーブルフープ式であること。可倒式も許される。

・牽引フックは車両が砂地に停車した時でも使用可能な位置に極力取り付けること。

・砂地に停車した時に牽引フックが隠れる可能性がある場合は、黄色、オレンジ色、赤色の矢印で、牽引フックの位置を明記すること。

・牽引部は黄色、オレンジ色、赤色のいずれかであること。

・その他の仕様についてはJAFの安全規定に合致したもの(内径φ50、断面積1平方センチ以上)を推奨する。

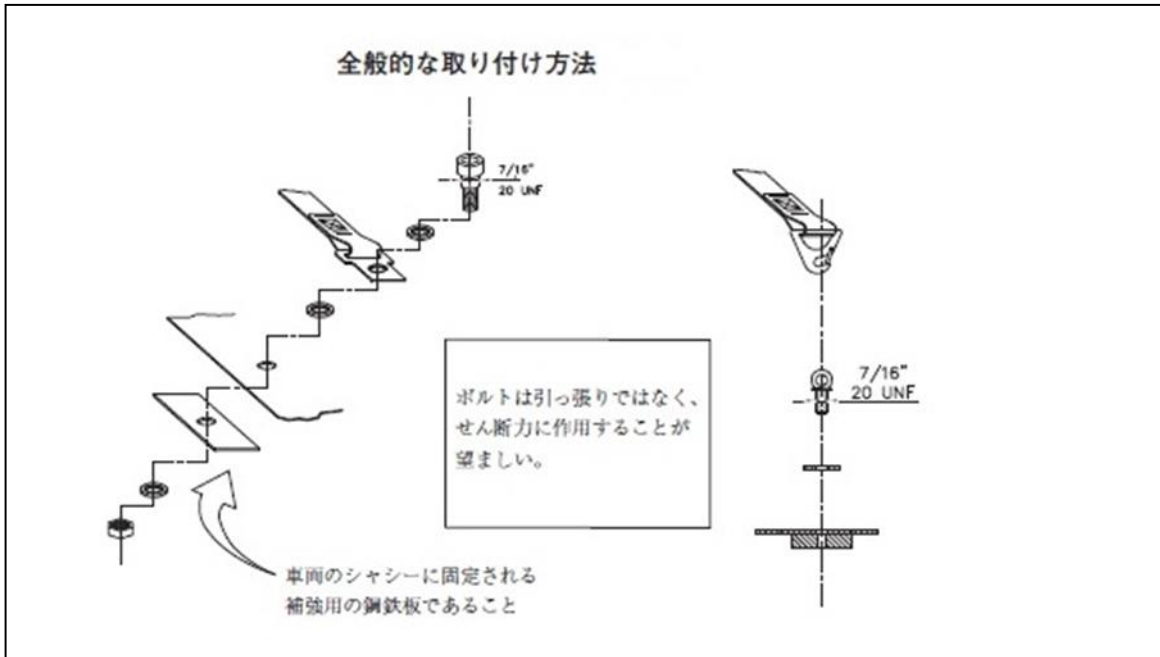
※コースアウトなどによりレスキューが牽引した際に、周辺部品が破損したことについてのクレームは一切受け付けないので、取付位置や角度には十分に注意すること。

イグニッションスイッチ	
イグニッションスイッチ(純正含む)および、燃料ポンプスイッチは、その位置が容易に確認出来るよう黄色で明示しなければならない。	
★安全燃料タンク	
<ul style="list-style-type: none"> ・全クラスとも安全燃料タンクの装着が許される。但し装着した場合には純正タンクを取り外すか、使用不可の状態にしなければならない(燃料系統を確認する)。 ・安全燃料タンクはFIA公認品の使用を強く推薦する。 ・コレクタータンクを別に装着する場合は最大容量 2L までとする。 ・取り付けは当初の燃料タンクの位置、あるいは荷物室に取り付けることが許される。 ・漏出した燃料が車室内に滞留しない構造であること。また、荷物室に設置した場合、アルミ板等の難燃性材料による隔壁を取り付けなければならない。 	
※その他取付けにあたっては「JAF国内競技車両規則 第4章第12条『安全燃料タンク』」の項を参考にする。	
ライト	
<ul style="list-style-type: none"> ・ライセンスランプを除き、全てのライト類が正常に点灯又は点滅しなければならない。 ・ガラス製のライト類には無色透明の飛散防止対策テーピングを施さなければならない。(プラスチックレンズは不要) ・HID 又は LED 等にバルブの発光方式を変更する場合には、その光量(照度)、光軸について必要十分でなければならない、又他者を幻惑させるようなものであってはならない。火災等が起きないように安全に取付けを行うこと。 ・自チーム車両の認識の為、純正以外のライト類を装着する場合には、各クラスの車両規定に合致し、且つ安全に作動しなければならない。 	
★床	
防音材、防振材は取り外すことが許される。カーペットは取り外すことを推奨する。	
★座席及びシートレール	
純正もしくは、レーシングスピードの走行に耐えうる強度を持ち、4 点式以上のシートベルトが確実に取付けられる座席を使用すること。(K-NN クラスは、今シーズンより東北 660 選手権規則の車両も、助手席装着が必須となる)	
シートレールは、ステー等を利用しての自作は禁止とし、専用に販売される十分な強度があるものを使用すること。又改造は禁止とする。またレールと車体の間に、いかなる物も挟んではならない。(※横転事故が多発しています。シートの確実な固定とドライバー保護の為、必ず守ってください。)	
ガラスサンルーフ、グラストップ	
ガラスサンルーフまたはグラストップ車両は、そのガラス部分をルーフと同一以上の厚みを持つ金属板を溶接するか、または金属版と同等以上の強度を持つ複合強化プラスチック(CFRP、FRP)をリベット止めして、ルーフと一体化する事。	
ガラスサンルーフまたはグラストップ車両は、上記の措置を施した場合でも6点式以上のロールケージの装着が義務付けられる。	
バッテリー、オルタネーター	
バッテリーおよびオルタネーターの+端子は、クラッシュ時の火災を防止するために、テーピングして絶縁すること。(純正のゴムカバーも可だが簡単にめくれないようにテープで巻くこと)	
オープンクラスで「ドライタイプでないバッテリー」を室内に移設する場合は、頑丈なカバーでバッテリー全面を覆うこと。	
オイルキャッチタンク	
ブローバイ経路を変える場合、大気開放は禁止とし、オイルキャッチタンクで受けること。	
オイルキャッチタンクの取り付け方法は、針金やテープなどによる暫定的なものであってはならない。容量は2L以上を推奨する。	
ウインドウネット	
装着を強く推奨する。ネットの固定は、万一転倒して力が掛かった場合に取外れることが無いよう確実に行うこと。	
取付けの際、タイラップ(インシュロック)等による暫定的な取付ではなく、恒久的な取付を行うこと。	
(運転席に装着した場合は窓を開けて走行することが許される)	
ネットはレース用として販売されている物、FIA/JAF 公認のネット、又は同等の強度・品質・寸法を持つものに限る。	
ゴルフネットやバイクのラゲッジネットなどの使用は認められない。	
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・車両規定について判断のつかない規則がある場合には、事前に問い合わせを行うこと。 ・車両についてオフィシャルによって疑義が生じた場合には、未改造又は規則に合致している事を証明しなければならない。 ・全ての最終判断は、技術委員長、競技長その他競技役員の見解に委ねられている。本規則にない事由についても同様とする。 	
※上記に記載の無い項目について安全対策を施す場合は、JAF国内競技車両規則を参考にする。	

別表1

参考)2017 年国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第 253 条 抜粋	
7.3.2) 認められる消火剤	AFFF、FX G-TEC、Viro3、粉末消火剤、FIAが公認したその他の消火剤
7.3.3) 消火剤の最少容量	AFFF: 2. 4L FX G-TEC: 2. 0Kg Viro3: 2. 0Kg Zero360: 2. 0Kg 粉末: 2. 0Kg

別図(1) シートベルト全般的な取付方法



別図(2) 取付ける際の車体側の補強

